

人間を救うのは、人間だ。

5月・6月は赤十字運動月間です
赤十字活動資金にご協力をお願いします

赤十字は、世界191の国と地域にネットワークを持つ世界最大のNGO団体です。日本赤十字社は、国際赤十字の一員として、国内外を問わず人道的活動を展開しています。



赤十字社の活動

皆様からお寄せいただいた活動資金は、様々な活動に活用されます。

災害救護

国内災害における救護活動、毛布などの救援物資の配布などには、平時の戸別募金等を通じた皆様の活動資金の寄付が活用されています。

血液事業

病気の治療などで輸血を必要とする人を救うため、献血を受付、安全な血液製剤を医療機関へお届けします。

講習普及

救命・健康・安全意識に関する講習の実施及び練習用人形やAEDの購入をします。松戸市地区でも赤十字奉仕団と協力し、講習会を実施しました。



ほかにも・・・

- 義肢製作所の運営
 - 医療事業
 - 赤十字奉仕団の活動
 - 青少年赤十字活動
- などに活用されています！

◀防災グッズの使い方や、防災についての講演会も実施しています！



千葉県支部

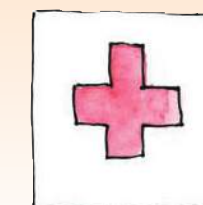
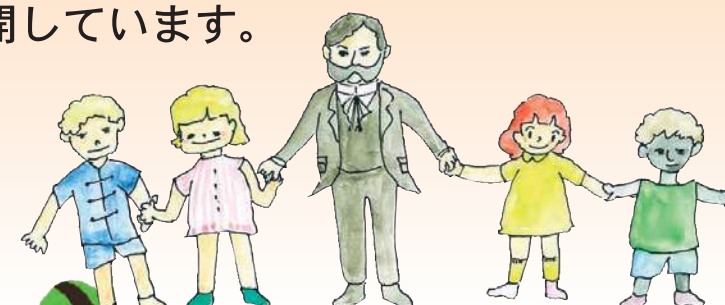
松戸市地区

いかなる場合でも

「人間が人間らしく生きるために」(アンリー・デュナン)

スイス人の実業家アンリー・デュナンは1859年イタリア統一戦争の激戦地ソルフェリーノで惨状を目の当たりにし、敵味方の関係なく救護活動にあたりました。以後の1863年、デュナンの提唱により国際赤十字が発足しました。

現在日本赤十字社は、人のいのちと健康、尊厳を守ることを使命として、世界191の国と地域に組織された赤十字・赤新月社と連携し、赤十字の7原則『人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性』の理念のもと、幅広い支援活動を展開しています。



マメ知識 その1

赤十字マークの秘密

赤十字マークは、戦争や紛争などで傷ついた人と、その人たちを救護する人や施設を保護するためのマークです。紛争地域等で「赤十字マーク」を掲げている病院や救護員などには絶対に攻撃を加えてはならないと国際法や国内法で厳格に定められています。赤十字マークは、いざという時にわれわれ国民一人ひとりを守るマークなのです。

マメ知識 その2

日本赤十字社の誕生

日本赤十字社は1877年の西南戦争中に設立された「博愛社」という救護団体がその前身です。その後、1887年に「日本赤十字社」に改称し、世界で19番目の赤十字社として正式に認められました。

